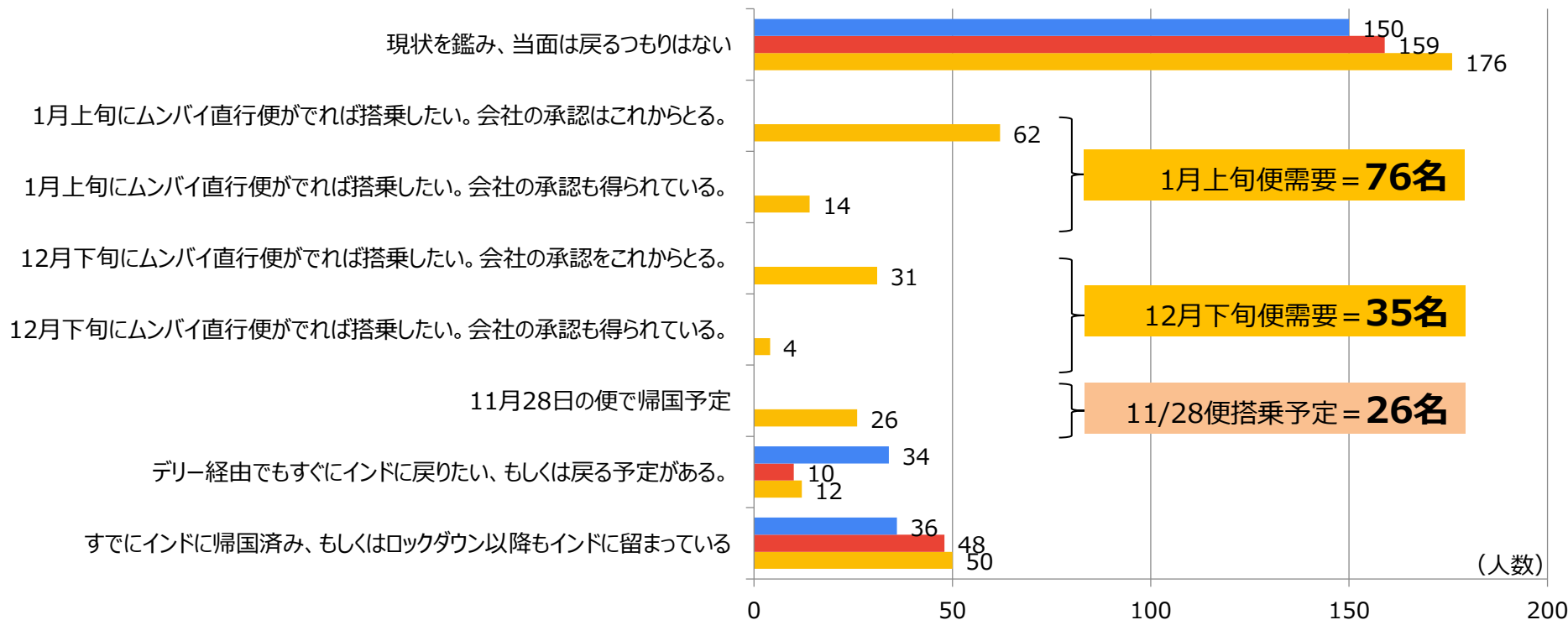


<11月度結果>
26名が11月28日便でムンバイへ帰国を予定。
今後のムンバイ直行便（12月下旬・1月上旬）には合計111名が搭乗を希望

回答内訳

	9月		10月		11月（今回）	
	回答数	会員数	回答数	会員数	回答数	会員数
個人会員	6	9	3	9	4	9
法人会員	66	365	76	396	68	369
回答総数	72	374	79	405	72	378

■ 9月
 ■ 10月
 ■ 11月（今回）



■ ムンバイ→成田行き直行便需要

【】内の状況に該当する方の人数を記載ください。

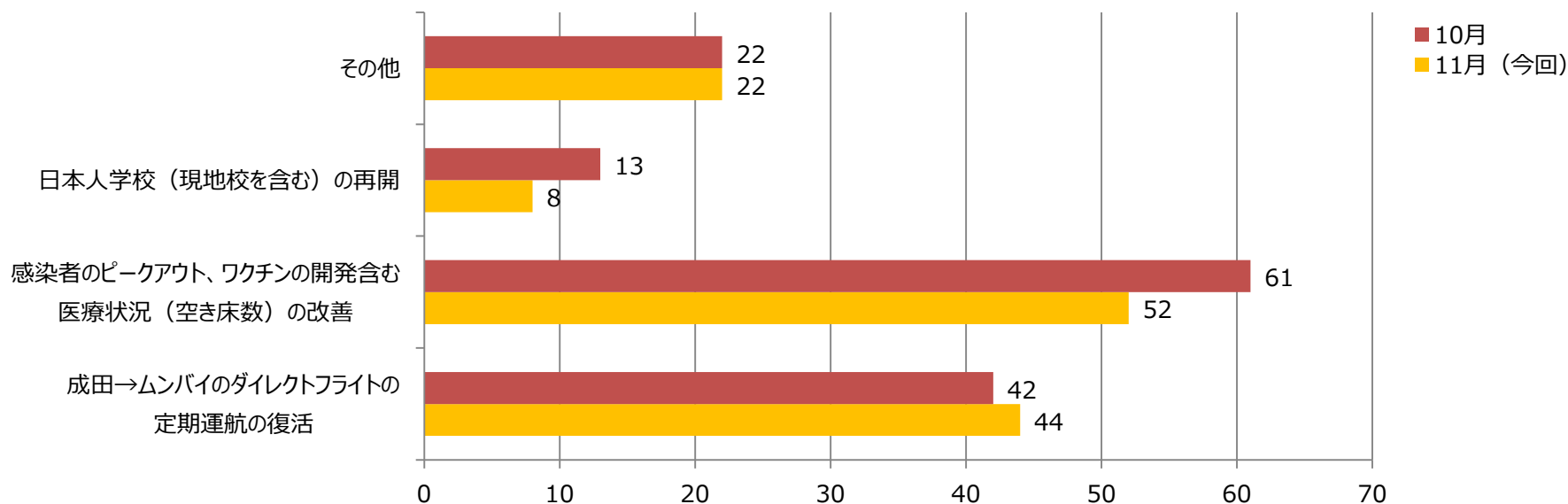
【12月下旬、もしくは1月上旬にムンバイ発→成田行きの直行便が出れば搭乗予定である】

→ **76名**

■ 帰国判断の目安・条件

左記のQ3.で、「いいえ」と回答された方含めて、法人会員の方は「会社の承認を得るために必要な理由・条件（すでに承認を得られた方はその理由）」を以下から✓でお選びください（複数回答可）。個人会員の方は「ご自身およびご家族の帰国判断基準となる理由・条件」を✓でお選びください。「その他」を選ばれた方はできる限り詳細に記述ください。

<複数回答>



■ 帰国判断の目安・条件、「その他」の内容

数名毎に、数か月交代で日本帰国・インド戻りを繰り返す会社オペレーションのため、直行便があれば非常に有用
外務省のインドへの渡航レベルが下がる
<ul style="list-style-type: none">・マネジメント先行帰還の後、状況を踏まえ、残りの派遣員（及び、帯同家族）についての帰還を判断。・帰還に際してはムンバイ直行臨時便運航を前提に検討したく、12月下旬/1月上旬以降についての運航もご検討いただきたい。・定期便復活までの間は、ムンバイ発成田行き直行便についても運航をご検討いただきたい。
直行便を使いたいが高額な為
業務の必要性和インド再渡航後の安全状況の総合的判断
特定の理由無し。総合的に勘案して判断
2週間隔離の解除
間引き運航でもいいので、ANA便の運航。往復運航が必須。日本に短期で戻れる手段があること。
成田・ムンバイダイレクトはデリー経由便同程度希望 医療状況（空き病床数）
ムンバイ便の往復運航（定期便でも月2～4便程度の臨時便でも）再開
既にムンバイに戻っております。
12月19日のデリー経由JAL便で帰任予定
搭乗予定です。
他の日系企業駐在員の帰任状況(社数の過半数程度)
外国人向け病院の病床/ICUの十分な確保
ムンバイ→成田の定期運航 週1便でも可
会社の承認を得られており、デリー経由でムンバイへ行く予定である。
直行便でなくとも、万が一の場合に帰国できる状態が確立されている
再渡航の必要性
オフィスおよび公共交通機関の再開
12月のデリー便ANAでムンバイに戻る予定
外務省渡航レベル、緊急退避方法の確保なども含めて